食にかかわる専門家をささえる

NPO法人 食生態学実践フォーラム

〒169-0075
東京都新宿区高田馬場 4-16-10 コーポ小野 202
TEL & FAX：03-5925-3780

2014.6.27　Vol.36

E-mail：forum0314@angel.ocn.ne.jp
http://www.shokuseitaigaku.com/

■第 11 回総会報告

日本女子大学新泉山館（東京都文京区）
2014.5.25

48 名（委任状含む）の参加者を得て、5 月 25 日（日）13 時より、日本女子大学新泉山館において第 11 回総会が開催されました。

冒頭に理事長から、「内閣府食育推進室の『地域に根差した民間団体の取組事例集―つくって、食べて、伝え合う食育―』（平成 26 年 3 月発行）に、当フォーラムが紹介されました。昨年 10 周年を迎えましたが、引き続き実践と研究の両面から、他に例のない活動を新たな気持ちで行っていきましょう」と挨拶がありました。

議案は、2013 年度事業報告・活動計算書報告の他、2014 年度事業計画・予算について審議し、異議なく原案通り承認されました。

※「地域に根差した民間団体の取組事例集―つくって、食べて、伝え合う食育―」及び事業報告･計画については、フォーラムホームページに掲載しています。

高橋千恵子（フォーラム理事）

■総会研修会
新しい「共食」観を求めて！

日本女子大学新泉山館（東京都文京区）
2014.5.25

本年度の総会研修会は「新しい『共食』観を求めて！」をテーマとしました。「共食」は、昨年度の「3･1･2 弁当箱ダイエット法」と同様に、NPO 法人食生態学実践フォーラムのキーワードの一つですから、原点を問うような研修会となりました。また、昨年から始めた、「食生態学―実践と研究」で取り上げ、事前に“熟読”して参加するというスタイルも今年で 2 年目となりました。

執筆者討論・座長の平本福子氏。

熱心に聴き入る参加者。

研修会は、「共食」研究の第一人者である足立己幸理事長の基調講演「新しい『共食』観を今、なぜ問うか」で始まりました。足立先生が 1970 年代から、「共食」の実践と研究に取り組まれて、現在、第 2 次食育推進基本計画」や「食育ガイド」、「健康日本 21（第 2 次）」、「健康な食事」、「和食文化」等健康や食分野における行動目標や評価指標として位置づけられるようになっていることを話していただきました。そして、今、なぜ「共食観を問い直す必要があるのか」との問題提起をしていただきました。

次いで、「食生態学―実践と研究」7 号の執筆者 3 名（衛藤久美：小・中学生の自発的コミュニケーションから見た共食、針谷順子：福祉施設発で地域に広がる共食、城市真紀子：食台からみえる“共食”）から、原稿の背景や伝えきれなかったこと等を話していただきました。参加者からは、質問や意見などの発言がありました。そして、これらを通して、「共食」の具体的な現象が多様であること、またそれらの「共食」の意味（価値）も多様であることが見えてきました。

左から、衛藤久美氏、針谷順子氏、城市真紀子氏。

十分とは言えませんが、新しい「共食」観を求めて、考える場（フォーラム）になったのではないかと思います。

平本福子（フォーラム理事）

■ローソン「主食・主菜・副菜のバランスしっかり 3・1・2弁当」の開発・販売

「主食・主菜・副菜のバランスしっかり 3・1・2弁当」が、株式会社ローソンから販売されています。6月 10日からはナチュラローソンで、17日からは全国のローソンで販売が始まりました。

2014年 2月 26日、農林水産省が主催した「ごはん食推進フォーラム～世界に誇る、私たちの和食」を機会に、ローソンから連携の申し入れを受け、連携条件などを確認しつつ、“健康な 1食”として「3・1・2弁当箱法」を活用した弁当の開発を協働で進めてきました。

NPO 法人食生態学実践フォーラムでは、「3・1・2弁当箱法」に関して、これまで積み上げてきた実績を生かした食育の実践ツールとして、研修等による健康・食情報システム面の活動が主でしたが、食品流通企業との連携で生産・流通システム面の活動を加えることになり、食環境づくりに、より積極的な活動が展開できることになりました。このことは、フォーラムが目指してきた“子どもから高齢者まで、地球上に生活するすべての人々が人間らしい食生活ができるように、そうしたことが実現で

きる地域・社会であるように ”とする理念達成にもつながり、活動全体の力量を高める積極的な意義がある、と考えています。

開発した「主食・主菜・副菜のバランスしっかり 3・1・2弁当」は、主食はごはん、主菜は鮭の塩焼き、副菜は根菜の煮物とごぼうの天ぷらです。しっかり主食 3・主菜 1・副菜 2になっています(下写真)。

商品開発の他に、パッケージにつける帯シートのロゴやキーフレーズの考案、販促用のリーフレットの説明文等の作成も、精力的に行ってきました。そして念願の “健康な 1食 ”の弁当が発売されました。

帯シートの上部は、「からだ・心・くらし・環境に　健康な 1食『3・1・2』」、下部の商品名は弁当の「主食・主菜・副菜のバランスしっかり 3・1・2弁当」がロゴと共に記されています。QRコードを読み取ると、ローソンのホームページにとび、そこからフォーラムホームページにリンクして、「3・1・2弁当箱法」のページへとつながるシステムになっています。

今回の商品開発については、ローソンでの準備が先行していた状態からの協働でもあり、容器や料理構成などの課題が残っています。次の開発には最初から協働できることになっています。会員の皆さまにも、機会がありましたら、購入してご賞味いただき、ご意見・ご感想などお寄せください。

この連携事業は、「コンビニ弁当を教材とする “健康な 1食 ”プロジェクト」を設置して活動しています。まだ始動したばかりの活動ですが、消費者の購買行動の視点から「3・1・2弁当箱法」の教育実践マニュアルや教材開発の必要性も感じています。会員の皆さまのたくさんのご発言をお待ちしております。

※「主食・主菜・副菜のバランスしっかり 3・1・2弁当」は、ローソンのホームページに掲載されています。http://www.lawson.co.jp/recommend/rice/osusume/000648/

コンビニ弁当を教材とする “健康な 1食 ”プロジェクト
担当：針谷、薄金、原田

●夏の食育セミナーのお知らせ

8月5～6日に子ども自身がリーダーになる食育セミナーを予定しております。場所は、昨年と同じ、みなみかぜ地域交流センター（埼玉県川越市）です。今年で 31 回目の開催となります。皆さまのご参加をお待ちしております。

●会費納入のお願い

2014 年度年会費をまだご納入いただいていない方は、同封の郵便局払込用紙をご利用になるか、下記口座までお振込をお願いいたします。

［振込先］三菱東京ＵＦＪ銀行・高田馬場支店（普）1517770　又は
ゆうちょ銀行　〇一九 (ゼロイチキュウ) 店（019）（当座）0702760
名義はどちらも、特定非営利活動法人食生態学実践フォーラム　理事長足立己幸

●事務局からのお知らせ

事務局の担当が 4 月より立元洋子に代わりました。どうぞよろしくお願いいたします。18 年の子育て生活からの社会復帰にまだまだ慣れない日々です。今年度の開室日も、原則として火曜日と金曜日、開室時間は 10:00 ～ 17:00 です。

不在の場合は、留守番電話にメッセージをお残しいただくか、ホームページの「お問い合わせ」からメールでご連絡ください。

～ブログから～　築地東劇ビル店で、ハナマルをつけた PRがされていました

今日、共食・孤食の取材を受けて、東劇に行きました。
13時開場なのでその前に昼食を買おうと見渡すと、なんと 1階にナチュラルローソンがありました。
入り口直ぐに、写真のような大きなビラ 2枚に ”新発売 ”と。赤の手書きでハナマルが付き、先行販売と書いてありました！
もちろん買って食べました。
おいしく、ほどよい 1食でした。
5分しか時間がなかったのですが、勇気を出して店長さんに
「開発協力をさせていただいている NPO……」と名乗り、写真撮影を許可していただきました。
裏側に積んであった［バランスしっかり３・１・２弁当」を前の方に出してくださいました。
帰りにもう一度寄ってみました。
前列のものはなくなり、後ろの列が、前に出ていました。
とてもうれしくて、最敬礼をして帰宅した次第です。

足立己幸（フォーラム理事長）